

# 座標軸

## 対論 座標軸

働かず学校にも行かない格差策し  
りーターの増加が対応当選し  
れ年の院選で初当選に、う  
昨の衆院選で初当選に、う  
主に、この問題を手  
に、こ



鷺尾 英一郎氏  
(わしお・えいいちろう)

民主党。衆院北信越ブロック。  
東大卒。公認会計士。衆院財  
務金融委員、同災害対策特別  
委員。当選1回、29歳。

### 働く人の労働条件整備を 鷺尾英一郎氏（民主党）

—ニート、フリーターの現状をど  
う受け止めていますか。

「企業のリストラと因果関係があ  
ります。フリーターはリストラの  
受け皿であり、ある意味では企業  
の収益力の改善を担っているわけ  
ですが、構造的には良くない傾向  
だと思います。ニートは、フリー  
ターの中でも非常に特殊な存在で、  
心の病といったような認識も一部  
にあります。政府も抜本的な解決  
策を打ち出せないのが現状ではな  
いでしょうか」

—問題の解決策は。

「究極的には、若者が自立してい  
ないのが問題だと思います。それ  
は、戦後教育の弊害が一部に出て  
きているのではないかと考えてい

ます。フリーターは、企業のリス  
トラがまた一つ原因になっている。  
企業の収益改善のために利用され  
ている部分があります。それを解  
決していくためには、勤労者の労  
働条件を整えていかないといいな  
い。企業が過当競争になって、（正  
社員でなく）フリーターの方をど  
んどん採用する。悪影響を与えて  
いると認識しています」

—政治家を志した動機は。

「私は公認会計士としてのサラリ  
ーマンでしたが、一企業の収益よ  
りも、世のため人のために働きた  
いと考えたからです。自分がどう  
いったところに興味を持つのか。  
例えば、教育の問題をどうしてい  
くかとか考えるものだから、そ  
れに合う職業はというと、政治家  
として働きたいと思いました」

—国会議員として無視できないも

のに、「国益」と同時に「地元の要  
望」もあります。  
「昔のような公共事業をどれだけ  
持ってきたかというような形で政  
治の力学が働くということが少な  
くなりしました。今は地域の中核都  
市をどうつくっていくのが課題  
です。東京・首都圏、大阪、名古屋、  
神戸、福岡など人口が密集し  
た地帯と、それ以外の地域で、柔  
らかな対立軸ができています。国  
土計画の中で、地方は都市に人口  
を流入させるだけの存在でいいの  
か。衰退の一途をたどっていいの  
か。どうしたら地域活性化を実現  
できるかを考えています」

—国会議員になって痛感したこと  
は何ですか。

「今までは単なる候補者でしたが、  
当選後は党の看板を上げながら地  
元活動をしています。すると、今

まで鷺尾個人を支持してくれた人  
も「民主党はどうなっているんだ」  
という目で見ます。最近ではメール  
問題があり、党をどうしていくの  
か考えないと、政治家としてすべ  
きこともできないと痛感していま  
す。同時に地元の有権者に自分の  
声を届けることが、いかに難し  
いかを認識しました」

—民主党が政権を取った場合、首  
相の条件は何でしょうか。

「リーダーシップとビジョンです。  
その上で柔軟なバランス感覚が必  
要です」

—自民党の小泉チルドレンをどう  
見ていますか。

「小泉首相の改革を礼賛し、自民  
党が善なる存在のごとく振る舞う  
彼らに危うさ、もろさを感じます。  
哲学、善悪、主義主張は、常なる内  
省によって強固になるものであり、  
その内省が不足、不十分ではない  
かと感じざるを得ません。彼らが  
追従する者がハーメルンの笛吹男  
でない誰が証明するのか。全体  
の雰囲気のみ込まれない政治家  
であってほしいと願っています」